

第8回 緑の市民委員会

会議録

1. 日時 平成20年9月25日(木) 9:30~17:00
2. 場所 市役所401, 402会議室
3. 出席者
 - (委員) 久委員長、下村副委員長、日高副委員長、海老澤委員、倉地委員、琢磨委員、大鋸委員、稲森委員、上條委員、川井委員、藤原委員、磯貝委員、川名委員、稲葉委員、寒川委員、林原委員、山田委員
 - (事務局) 佐和都市整備部長、高橋みどり推進課長、川邊花のまちづくりセンター所長
中川みどり推進課長補佐、上田みどり推進課長補佐、西川花のまちづくりセンター係長
西本みどり推進課公園管理係長、北田みどり推進課緑化推進係長、巽みどり推進課主査
福山みどり推進課主査

4. 議事内容

(1) 開会

(2) 案件

- (1) 花と緑の景観まちづくりコンテスト審査
- (2) その他

(3) 閉会

【事務局】 佐和部長挨拶

【事務局】 資料1について説明

【久委員長】 この中から5つ選ぶということでよろしいでしょうか。もう少し入れたいというご意見はありますか。

8点くらい、部門関係なく8つ。15分間、10時50分をめぐりに8つ選ぶ作業をお願いします。

【山田委員】 名前を入れますか。

【久委員長】 はい。記入してください。車が入れないところも選んでください。

【事務局】 補足説明

【久委員長】 結果発表をお願いします。

【事務局】 選んでいただいた集計の結果を発表します。27が13票、続きまして18と23が12票、20が9票、3が8票、13と19が7票でした。
上位7つを紹介させていただきました。

- 【久委員長】上から部門別に
部門的にも均等にばらついていると思います。
昼の現地審査は7ヶ所でいいですか。ぜひここも見たいというところはありませんか。
午後は7つ見せていただいて、部門別は別の集計を見せていただいてからでいかがでしょうか。
景観賞・まちづくり賞でそれぞれ最優秀、優秀にもれたところから景観賞、まちづくり賞に
何か審査につきまして質問はありますか。
- 【稲葉委員】4つの部門に分かれているけれど、選考に無理がある。広く顕彰する意味で参加団体のみなさん
に結束していただきたい。誉めてみなさんがやる気になっていただくのが良いと思います。
丸をつけながらこう思いました。次回からでいいので、ちょっと意見を言わせていただきました。
- 【久委員長】質だけでなく活動内容を評価したいとか。あと最後のつめのところは、最終で意見交換していた
だくことでいろいろな意見が反映されるということになります。
- 【上條委員】場所的にどのようにわかれているのか。地域のバランスが知りたい。
- 【久委員長】地図上の点が応募箇所です。
- 【事務局】 27 光陽台、18 喜里が丘、23 東旭が丘、20 喜里が丘、3 生駒駅前、13 生駒北小学校
- 【上條委員】人口的、地域的にかたまりなくいけたらよいと思う。しかし、地域の中ではすごい活動をしてい
て、町の活性化につながる。ということになる。地域的なばらつきはその辺が気がかりです。
学校関係の参加があるが、学校についてはどうですか。
- 【久委員長】学校関係へのPRはどのようにされたか。
- 【事務局】制度について、校園長会でPRしました。小学校中学校で、10 団体エントリーしていただきました
た。市立中学校は全部で8校、小学校は12校、幼稚園は9園ということでございます。
- 【久委員長】箕面は小中の参加がさかん。そういったことで刺激がでてきたらよいと思う。生駒は、全国的
にもトップクラスである。努力の成果だと思う。花のまちづくりセンターに専属の職員がいるのはめずらし
いので。
- 【川名委員】花づくりは大変です。参加する人はまちづくりでもまだまだ少ない。今回上がった皆はひとりひ
とりありがたい。励ましをして意識を高めたい。やってくださったことに対して感謝を伝えたい。採点も
大事だけど、やっていること自体をほめてあげたい。
うまくいかなかったグループもこれからしてもらおう。まだまだ、増やしていただきたいという気持ちをこ
めて感謝状を出してあげたい。
- 【久委員長】サロンもやっているの、招いて苦労話をしてもらったり、勉強会をしたりといろんな手がある。
南部の方にがんばっている人もいるけど、コンテストに参加されない人がいるかもしれない。賞がほしい
人も中にはいるかもしれない。
- 【川名委員】 発掘してはどうか？委員会・ふるーらむでコンテストには参加していないが、緑化活動をして
いる人にも感謝状を渡すとか。今後の参考ですけれど。
- 【久委員長】もうひとつの話題とかかわってきますが、生駒はサロン活動と市民委員会活動をどうしていくか。

今後どの立場で議論していくか話していきたい。市民委員会の組織で個人・メンバーとして。権威はないけど、ずっと関わっていける。どう連携をとっていくかは、感謝状を誰が出したらいいのか。という話ですが、権威がないと気軽に出せる。これから今後のことについて議論していきたい。次回以降コンテスト後に時間をとって話し合いたい。
現地審査に行くのに際し、何かご意見はありますか。

(2) 緑の保全部会報告

【磯貝委員】資料2の説明 里山ボランティアのスケジュール説明

休憩

午後の部

【事務局】 それでは、そろそろ会議の続きを始めさせて頂きたいと思います。現地視察で7カ所見に行きまして、段取りがちょっと悪くて歩いてもらう事の方が多かったような感じになりました。どうも申し訳ありませんでした。
それでは審査の続きを下村副委員長さんお願いします。

【下村副委員長】 はい。久先生が午後から急用で来られなくなりましたので、下村が代理をさせていただきます。どうもお疲れさまでした。先ほどお話にありましたように、7カ所から絞っていくということになると思うんですが、まず最初に2つ決めるようになるかと思います。ここでいいかと最優秀賞と優秀賞ですね。これをまず今日行った7カ所の中から選んでいいかという所からまず、ご議論いただければと思います。見学に行く前は、この7つの中から2つ選ぶかという話にはなっていたかとは思いますが、それではよろしゅうございますでしょうか？

【一同】 はい。

【下村副委員長】 それでは、その選び方なんですけど、いくつか方法があると思います。再度投票いただくという方法が1つでございます。それと投票に近いんですが、上からといいますか、票の上から例えば皆さんに挙手いただいて、それも1人例えば1回なのか？3回なのか？5回なのか？というやり方もあるんですね。その中でまず上位を決めて、あとは応援演説を皆さんから頂く、“これがよかったよ”とかですね“ちょっと点数はトップじゃなかったんですけど、こっちのほうがこういう点でいいんじゃないですか”とかいう話もあろうかと思うんですね。どのようにさせていただいたらよろしいですか？

【一同】 ……

【下村副委員長】 賞の決め方というのは、私も久先生の話にありましたように、何回かやらせていただいているんですが、全部やり方違うんですね。ですから、これと言った別にルールはないかと思うんです。みなさんのご意向で決めていいのでは？これ決め方は何もありませんね、今のところないですね。

【磯貝委員】 どういう決め方なんです？“賞”というのは、例えば、最優秀賞とか優秀賞とかそういう決め方ですか？

【事務局】 そうですね。まず、最優秀賞、要領に、審査要領にありましたけれども、まずそれをいれて

いただくということですね。

【磯貝委員】 最優秀賞は1点？

【事務局】 はい。
それと部門ごとに、景観賞、まちづくり賞ということで、お願いいたします。

【磯貝委員】 そういう賞なんだ。

【下村副委員長】 ですからこれは、私はさっき2つと申し上げてしまいましたが、最優秀賞と優秀賞は少なくなってもいいわけですね？

【事務局】 そうですね。1点やったら1点で、1点だけでも結構です。
該当がないということであれば。

【日高副委員】 あれば、該当があればいいんですか？

【事務局】 該当があれば、2等賞までは……。その後は各4部門×(かける)2で、ない場合は抜くということで最大10だということ。

【下村副委員長】 そういう形でもよろしゅうございましょうか？
そしたらいかがですか？もう1回投票していただくってこともあるんですが。

【倉地委員】 この写真とね、現物と裏切られない作品を今年は1等賞にしたらいいかな？
裏切られたところが結構ありますので、あまりイメージが壊れないような所に。
あの他の所、写真よりもずっと悪いのもありましたでしょう？その写真よりも、写真と同じくらいに維持されて、これに入っていない場所もあると思うんですよ。
だから私としたら、そういうイメージの壊れないところを毎回維持管理がしっかり出来ているということで、私はそういう推薦の仕方をしたいと思っています。

【下村副委員長】 ありがとうございます。
いかがですか？そういう観点でご判断いただくことも結構かと思えますし、あと年間を通して花をずっとキープされているところに非常に賛同される方もいらっしゃるかも知れません。写真を見た時はすごかったんだけど、今はちょっと次の植え替えの前なので、厳しい時期かもしれません。年間2回植え替えと書いている方もいらっしゃいましたので。その2回(植え替え直後)を評価するというのもかもしれませんし、今日のこのタイミングだから評価が落ちるという可能性もあるわけですね。
その辺もすべて統一した見解はなく個々のご判断でということになるかと思うんですね。または、もう今日見たもので、決めましょうということも出来ますし、写真とこの前の役所の方が調査されたスライド、作られた写真と今日の現場の3つ合わせて選ぼうという方もいらっしゃるかも知れません。どの選び方でも理由はつくと思います。

【磯貝委員】 先程7点から選ぶということで、決まっておるんですけど、ちょっと意見として敗者復活戦を1点ぐらい入れて頂けたら……

【下村副委員長】 はい、いかがでしょう？

【磯貝委員】 午前中いなかったのですね、4番っていうのは何ポイントだったんですか？事務局。

- 【事務局】 4番は5点です。
- 【磯貝委員】 なるほど、5点ですか。
- 【藤原委員】 私も同じ意見で、私1人だったのかなぁと思ってたんですけど24番、棚田。お昼食べて聞いてたらなんか結構入っていたんですけど、何点ぐらいやったんですかね？
- 【事務局】 6点です。
- 【藤原委員】 ああ、ぎりぎりですね。
- 【事務局】 あの一、今日見に行っていた最低が7点。
- 【藤原委員】 もうちょっと近場やったら、ちょっと回って欲しかったぐらいなんですけどね。
- 【日高副委員長】 すみません。ついでのよろしいですか？
今通ってきて思ったんですけど、長いところ、1番で、ほんとに一番たくさんの市民が目に見えるところかなぁって、特別な人とか個人的にそこだけ見る人とかではなくて、本当に不特定多数の方。ましてよそから、生駒市外から来はる人などたくさんの人の目に触れていて、それを今日見ても、この写真の時より、もっと綺麗でした。やっぱり実物で見た方が・・・それで1番を入れたい。これ稲森さん写真写り悪いですよ。ほんまはもっとよかったから。
- 【稲森委員】 そんなに褒めてもらえて。まあこの程度ですわ。
- 【日高副委員長】 ご謙遜を。
- 【日高副委員長】 あの、1番はたくさんの人が見てはるし、一番よそから来はった人も見はるとこやし、それと今、行かしてもらうまではそうも思わなかったんやけど、やっぱり見せてもらおうとねえ。
- 【稲森委員】 お褒めにあずかりましてありがとうございます。
- 【日高副委員長】 たくさんの人の手がかかっているなって思った。
- 【下村副委員長】 1番はちなみに何点ですか？
- 【事務局】 1番も5点。
- 【稲森委員】 私も入れてないのに。
- 【日高副委員長】 稲森さん入れやなあかんやん、入れたら6点になるのに。
- 【稲森委員】 いやいや。入れていません。入れていません。
- 【日高副委員長】 自薦ですやん。
- 【事務局】 あの、今日見に行ってもらった後、先程の次点ということで、24番が6点、あと1番・4番・17番のが5点です。

【川井委員】 今、日高さんがおっしゃった意味で言うとね、先程話の出た24番。これまた私手前味噌になるんだけど、ハイカーが暗峠まで来るところねえ。県内県外問わずたくさんの方が見て楽しまれているんで、そういう意見では大自然をバックにしたお花畑っていうのは非常にこの中では異色だと思うんですよねえ。
そういう意味で、6点評価してるわけなんですけど、敗者復活戦に入れたいと思います。

【稲森委員】 賛成。

【下村副委員長】 それではですね、今日見学に行きました7カ所にですね今話がありました、上から言うと4番・24番・1番・17番、これが敗者復活の可能性があるので、みなさんこの中でもう一度スライドを見る必要がある番号があれば、どうしましょ？
4番と24番と1番と17番これもう一回見ますか？もうよろしいですか？
一応点数でいいますと、5点は3箇所ですね？

【事務局】 5点はその3つです。

【下村副委員長】 今日何人いらっしゃるんですか。

【事務局】 あの点数を付けていただいた時の人数が15名ですね。

【下村副委員長】 そうすると1/3で5票ですので、これはもう他のに入れられた方いらっしゃると思いますが、全部挙げると1票まで入りますので、出来たら5票、1/3獲得したという事に絞らせていただいてですね、この中で話を進めて行きたいと思いますが、それでいかがでしょうか？

【一同】 はい。

【事務局】 一応午前中の審議の時に、みなさんに1つずつ選んで頂いて、その他に午前中に欠席というふうな形で票が入っていない方で、先にこういうところがいいですよっていうようなことで、教えて頂いているのもあります。その部分を入れさせていただいても、点数にですね3人の方が入れている、1番・4番・24番すべて挙げられてますんで、その方を入れましたら6になる。

【下村副委員長】 そうであれば、正式な票として入れて置かれる方がいいんじゃないんですか？

【下村副委員長】 もし欠席の方で事前に票があるならば、それは有効ですかね？
いれてカウントして、今の7票に4つ増えたんでしょうか？5つですか？

【事務局】 4つです。

【稲葉委員】 すみません。22番は？
ここ実際すごい綺麗なんですけどね。

【下村副委員長】 今、票の少ないのでいいところは、各部門の方の応援演説をして頂くとどっちかに入る可能性が高いと思いますので、よろしければ、上から4・20・それから、24・27次が、学校に入って13・19・1・3最後が、17・18・23以上でよろしいでしょうか？

【林原委員】 今お聞きしましたが、学校部門が2つしか入ってないんですね、私思いますのは、時代を背負うあるいは家庭の中心たる子ども、将来の大きな人材になりうる。それから防犯とか教育の見地から環境教育とか考えると、学校をもうちょっと重視したほうがいいんじゃないかなと。特に子どもが主役になっているような学校ありますね。そういうものは意を汲んでやって、今後育成のためにももう一点くらい増やしていただけたらいいかなと。

【下村副委員長】それはもう、部門賞でいかがでしょうか？もう一方入ってきたほうにですね、問題の賞には入れるとは考えられないと思うんです。いいかがでございますでしょうか？部門の方で応援演説いただくと、具体的にどれがいいというお話もいただいて。

【下村副委員長】この中から最大2つ選ぶだけなんですね。ですから、今からすごい応援演説をいただいても、その2つに入るということは、ちょっと微妙かなと思います。よろしいでしょうか？それでこの中からの決め方なんですけど、いまから5分みなさんにお考え頂く時間をとって、何個選びましょうか？何回か順番に手を挙げて頂いて、それを事務局にカウントしてもらい、ちょっと表なり数字を計算いただきます。上位3から5つを候補にします。単純にその多い方から決定するんじゃなくて、みなさんの応援演説のなかで決めていただきたいという風に思いますが、そういう形でいかがでしょうか？もうあまりたくさん選んでもですね、迷うだけなので。どうでしょう。2つか3つぐらいに限定してしまいたいと思うんですが、いかがでございますでしょうか？1つはしんどいですよね？

【藤原委員】 とりあえず2つ選ぶということでどうでしょう。で、今日の感触では1つは、ほぼ決まったような。なんか圧倒的な感じやったような気がしますけど。1か所はね。

【下村副委員長】それで2等賞があるかどうかというのは。

【藤原委員】 逆に2等賞の方が難しいのどちらがうか？

【下村副委員長】 それはバラけたらなしでもいいわけですね？1等賞に近いやつが出てきたら2等賞作ればいいわけですね？で、1等賞だけダントツで、後は少ない票ばかりでという感じなら。また、その第2グループがですね、また2つに分かれるようだったら議論の余地は有りかと思えますし。もう1つ以外は、全部一緒やったら、もう2位はなしと思うんですけど。これ2つ選ぶってことは、かなり集中すると思うんです。で、5つ選ぶとなれば、かなりバラけるんです、投票がですね。あの、かなり集中させるっていうことになるかと思うんです。2つ選ぶという事は。それでよろしゅうございますでしょうか？

【一同】 いいです。

【下村副委員長】まず、やりましょう。そしたら皆さん、どれに手を挙げるかをお決めいただいでですね。

【稲葉委員】 先程おっしゃっていた24番。実際見に行った事もあるんですけど、それで今日は行きませんでしたけど。よく知っていらっしゃる方、写真ではとっても綺麗なんですけども、普段もこんなに綺麗ですか。

- 【川井委員】 いやいや、まあオールシーズンいろんな花を植え替えたりしていますので。これはもうオールシーズン四季を通じて・・・。
- 【川名委員】 手入れする人も多いですから。
- 【川井委員】 まあたとえば、春にはお花畑の背景に菜の花が一面に咲くとか、秋にはソバの花が咲くとか、まあそういう遠景と近景がありますけどね。まあ近景のお花畑の方は、四季を通じて変化に富んだ花を植えていますのでね。
- 【事務局】 ちょっとあの24番の今現状のスライドを見てもらいますので。それでまた判断してください。
- 【川井委員】 この、左側に旗が見えるでしょう？うどん屋さんがあるんですよ、地元の方がおやりになっている。中尾さんとおっしゃる方。その前にお花畑が。どうですか？広さで言うとのどのくらいあるのかな？
- 【下村副委員長】 これ、なかなか難しいですね。これ1つを応援演説するかどうかというところですね。
- 【川井委員】 そうですね。
- 【下村副委員長】 棚田の風景にお花畑が合うかっていう問題もあるわけですよ。ですから、いろいろ言い出すとキリがないんですけどね。
- 【稲葉委員】 ただ、今までは個人のお家を飾るという点にもすごく目が行ってたんですけど、こういう風景の中で撮られたお花畑に関心を持つっていうのもすごい新しいかなと思ひまして。
- 【下村副委員長】 風景の中でとらえるときに植わっている所がどこなのか？という所の判断をすとかですね。非常にいいとは思ってますよ。
- 【稲葉委員】 でも出したほうはその棚田にすごくあっていとおっしゃっているわけで、私たちは見ていないので、お話からしかわからないですけども、目の付け所がすごく新しいんじゃないかなっていう。
- 【川名委員】 308号の道端なんですけどね、車で通る、車の数は多いんですよ。うん。
- 【藤原委員】 これ1番最初の写真みたら棚田写ってましたんで。
- 【川名委員】 ちょうど暗峠の方向を向いたんですか？
- 【川井委員】 この山が向山という山でしてね、
- 【川名委員】 ここで森林ボランティアが入ったり、
- 【藤原委員】 結構ねハイキングでよく来られるんですよ。
- 【琢磨委員】 こういうところに園芸植物の女郎花(オミナエシ)なんかをうえるのはどうなんでしょう

かね？遺伝子的な問題とかないんですか？

【川井委員】 オミナエシもう植わっていますよ？ちょうど今、もうちょっと遅いかな？

【琢磨委員】 オミナエシの写真があったんですけど、その遺伝子的な問題でね、オミナエシの種が、棚田にも普通の在来のオミナエシがあると思うんですけども、そういう時にどこのものかわからないオミナエシの種を植えることは、遺伝的にみて、その地域のものを壊しちゃうんじゃないかな？と思って。富雄川に植わっているオミナエシをみながら思っていて、その地域に全然無いんならともかく、やっぱりある所なら。

【川井委員】 あーそういうことですか。樹木ではそういう事よく言いますけどね、草花では。

【琢磨委員】 でもそれは、今一番関心がある。みんなに言われている事だから。

【下村副委員長】 外来種の遺伝子かく乱というのは、非常に問題にはなっているわけですが。

【川井委員】 まあ、春日山なんかよくそういう話ね。あそこ・・・繰り返し問題になるんですけど。

【琢磨委員】 日本全国の問題になっていると思うんでね、日本だけじゃなくて、世界的な問題になっていることだし、あえてそれを生駒市が奨励するような事をやんなくてもいいんじゃないかな？

【藤原委員】 まあ・・・あるけど、コスモスなんか結構ありますし。

【琢磨委員】 コスモスも富雄川が。

【川名委員】 菜の花でしたらここ一杯になります。で、今プロジェクトでやっておられますんで、何枚かの田んぼは全部黄色一色です。

【琢磨委員】 菜の花プロジェクトを推進しているのもちょっとなんか問題有じゃないかと思っているんですけどね。

【川名委員】 そりゃ問題って言ったらなんぼでも出てきますから。それはそれなりに花をって言う問題の中でね。

【琢磨委員】 やっぱり花をって考えた時にやっぱりそういう遺伝子的なとかそういうこともね、考えていけないといけないなと。

【川井委員】 菜の花はこのプロジェクトがやっているわけやないんですよ。ちょっとすみませんあの別の話になってきている・・・

【琢磨委員】 すみません。話がずれました。

【事務局】 コンテストのことだけでお願いしたいんですが。

【下村副委員長】 あの実際はこれを見ると他のも見ますか？ごらんになられますでしょうか？ここだけでよろしいですか？今日見に行かなかった所があと数カ所あるんですけど、それはもう別によろしいでしょうか？
先程申し上げましたように、一応の判断基準はこの資料1の所に書いてありまして、あ、もうスライドはよろしいでしょうか？

【一同】 いいです。

【下村副委員長】 花と緑の景観まちづくりコンテストの審査要領でございますが、1つは景観面、街並みとの調和、花と緑の数や造形物等の利用、場所の選定や設置の方法の工夫があります。デザイン性、花と緑の種類、高さ、大きさ、配色を工夫しているか。なんでも植えていたら、花を植えていたらいいんじゃないんですよってことですね。

あとまちづくりの面、地域での取り組み、地域、学校、職場、家庭などで花と緑を通して多くの人々との交流があるか。また、取り組みの広がりとしたしましては、取り組みの発展性、今後の継続性があるかどうかということが、一応この基準でございます。

ですから、これを元に、今日ご覧頂いた7カ所にさらに追加したものも入れましてですね、2つ、一応2つを選ばせていただいてですね、1こ1こカウントをお願いしたいんですが、よろしいでしょうか？

いかがでしょうか？もうよろしいでしょうか？

【下村副委員長】 そしたらまず1人2回でお願いします。

まず4番。

次に20番。

24番。

27番。

続きまして13番。

19番。

1番。

3番。

続きまして17番。

18番。

23番。

ありがとうございます。

結果を申し上げますと、全部でいくつになりました？

【事務局】 挙げていただいた数全部で30です。

【下村副委員長】 合ってます？

【事務局】 30で15人。

【下村副委員長】 15人いらっしゃるんですね？

【事務局】 15人です。はい。

【下村副委員長】 今の数で言いますと、27ですかね？27番が13人の方。13人の方というと、13/15ですね。その次となりますと、4名が2つ。19と18が4名ですね。その後はお2人ずつの24、13、23。その3つです。

いろいろご議論があると思いますし、いろいろ意見もあろうかと思うんですけど、多数決で言うのもなんですが、この数字を見た限り、27だという判断をせざるを得ないかなと思うんですが……。いやいやそれでもっていう方がいらっしゃったら、応援演説をいただければと思うんですが。私の意見としましては、最優秀賞に関しましては27番で、いかかでございますでしょうか？よろしいでしょうか？

【一同】 はい。

【下村副委員長】ありがとうございます。その次に4票入ったのが、18、19. 続いていますね。18と19でございますが、さてさて、優秀賞とするかどうか。ちょっと13は開きすぎているところがあるかと思うんですが。

【磯貝委員】 18と19でちょっと手挙げてね。もう一回15人の中から手を挙げて、っていうのは？

【下村副委員長】それで、あまりにも差がつけば、優秀賞の可能性があるということですか？あまりかわらなければもうやめてしまうということもあろうかと思うんですが。

【日高副委員長】13票と4票とではすごい開きがありすぎますからね。

【川名委員】 優秀賞は2つあってはいけないんですね？

【下村副委員長】今のところ、といたしますのは、この賞で終わりじゃなくてですね、あとまだ各部門賞が残っているわけですね。

【藤原委員】 4票の次は2票ですか？

【日高副委員長】 はい。

【藤原委員】 もう同じじゃないですか。

【下村副委員長】 あんまり変わらないですね。

【藤原委員】 だからもうナシという訳にはいかないんですか？
優秀賞と最優秀賞が開きすぎというか。

【磯貝委員】 このコンテスト今回が初めてでしょ？賞をたくさん作っという方が、次年度に参加するかどうかとか、そんな厳しくやると、もうやめとこうかということにならないかな。という気もするんですけど。そういう考えは甘いですかね？

【藤原委員】 そういう場合もありますね。

【日高副委員長】 厳しいのも1回・・・

【林原委員】 27番がねあまりにもダントツに良過ぎた。で、票を取り過ぎて2位が開きすぎた。

【下村副委員長】 2つ選ぶとそうなんですね。3つ選んでいるともっとバランスいいんですけど。バラけるんですけど。

【林原委員】 じゃあこれを27番を除いて？

【下村副委員長】 もう一回やるって手もありますけど。

【磯貝委員】 もし10票以上ずれたらどうしますか？

【稲葉委員】 やっぱりさっきおっしゃっていたように学校の問題をやはり加味して、現場の現物だけじ

やなくていうのをきっちり考えないといけないかなと今思っているんです。やっぱり将来生駒が、お花が大きくいっぱいになるって感じしますよね。

【稲森委員】 それと参加人数、お世話をされている方が、60人っていうのが、素晴らしいと思います。多人数でやっておられるということは。

【下村副委員長】 この学校は毎年やっておられるんですか？
毎年継続されているんですか？

【稲森委員】 お世話する方が、非常に多いんですね、参加される方が。

【下村副委員長】 校長先生、教頭先生や担当の先生が変わって、主になる人が異動したりしたら、いきなりやめてしまう学校っていうのが多いんですよ。学校ピオトープの典型なんですけどね。勤務年数がひとつの学校に6年くらいはいらっしゃるんで、その間はいいいんですけど。

【日高副委員長】 変わってはるんですけどね、用務員さんも変わってはるんですけど、以前はもっとすごかったんです。はい、ちょっと今はね。

【倉地委員】 あの、この中学校は富雄川の方もされている、協力されている学校なのかな？

【稲葉委員】 じゃあこの学校には、特別賞とかにしたらいいいんじゃないの？

【下村副委員長】 一応トップをひとつに絞り込んで、部門賞がちょうど2つ3つぐらいなので、その中から決めていくって手もあるかと思うんです。
磯貝さんおっしゃるように、たしかにたくさん出すって手もあるんですけどね、第1回目ですから、それは戦略的なことなんですけどね。9つ賞があるのと10あるのとで。書き方なんです。優秀賞該当ナシとするか、最優秀賞1点で部門賞2つずつで並べるか。これも、今後のために・・・書き方なんです。要は表彰するときに。最優秀賞1として、次、優秀賞という項目を挙げておいたら次に選べるんですよ。今回該当ナシということですね。ですから次年度に向けて、もし今回選ばないとしてもそういう風にしておきたいと思うんですけど。いかがでございますでしょうか？それか、4の2つから1つ選ぶといってもないことはないです。2つに1つどっちかに、手を挙げてくださいという多数決すれば、どちらかに絶対決まります。15人なんで。

【稲葉委員】 やっぱりそれは2つでもいいわけでしょ？優秀賞の賞は。

【下村副委員長】 結構かと思いますが、賞状だけで済むんですかね？予算取りは？

【磯貝委員】 手を挙げるか挙げないか自由にしたらいかがですか？認めるか認めないか。そしたら三種になりますね。AかBかCという選び方。

【下村副委員長】 2つ選ぶということでもないんです、たくさん出しておくっていうのも1つの手かもしれないです。

【磯貝委員】 予算の関係は？

【事務局】 倍ほど高いのは駄目ですけどね、たとえば優秀賞が2点になっても構いません。

【下村副委員長】 2点と4点の差があるかないかだと、どう判断するか？

【磯貝委員】 だから13票が効きすぎている。

【下村副委員長】 効きすぎているんです。

【磯貝委員】 効きすぎている。だから、ダントツだから影響しているんですね。だからこれを外して、例えばこの2点に絞るか、4点に絞るかにしてやったらね、もっと散らばるかもしれませんが、集中型ではないと思います。

【下村副委員長】 (集中型)では無くなると思います。

【藤原委員】 だったらちょっとこれ置いといて。先に部門別のほうに・・・

【下村副委員長】 いやいや、これを決めてからでないと。やっぱりこの2つは上。というか位置づけが違うと思うんですね。

【海老澤委員】 1回手を上げてもらうと。

【下村副委員長】 まず選んでいただきたいのは、1つは2つとも優秀賞にするという考えがありますね。それから2つの中から1つ選んでしまうという考えがあります。もう1つはどっちもやめてしまう。この3つの選択で、少し3秒でお答えいただけますね。手を挙げていただいてよろしいでしょうか？

ただせっかくなので、サービス精神旺盛で。この市民委員会は非常にいい！と、サービス精神旺盛だ！ということをお訴えるために、みなさんに賞を取っていただく為にも2つ選ぶ。それがいいと思うんです。

【一同】 (納得)はい。

【下村副委員長】 決まりですね。それでは、賞状の紙程度の費用かかるとは思いますが、これは最初に2つの選択肢で選んだことが原因だろうと思われます。本当はもう少し、「5つ選べ」となればこの票数も入っていただろうという判断のもとに。それはもう立証しなかったですけども。

【稲森委員】 それで結構です。

【下村副委員長】 この2つ4票取得した18、19につきましては、優秀賞を差し上げるということにさせていただきますのでよろしくごさいますでしょうか？

【一同】 はい、結構です。

【下村副委員長】 ありがとうございます。一応ホッとしました。

1回目ですんでね。それでは残りの各部門賞を、これ2つ基準がございまして、1つは景観賞とまちづくり賞。1つは景観にどれだけ寄与しているかどうかと、1つは活動的になっていような話ですね。その2つの基準をもって、まずコミュニティー部門からいきたいと思えます。で、コミュニティーの4、20、24。24は棚田。

【下村副委員長】 ちなみに4はさきほど何票でした？

【事務局】 一番最初ですね？

【日高副委員長】 2回目に2個選んだやつ？

【事務局】 1人です。1人。

【下村副委員長】 20も1人でした？

【事務局】 20は0です。

【下村副委員長】 0ですか。まず景観面で一番貢献していると、景観の話で言いますと、何点かあるうかと思うんですね。花の数、造形の数、場所選び、設置の方法、工夫されているかどうか。それと、あとは、公の場所からどんなに見えるかどうかとかですね、いろいろ判断がおろうかと思えます。この中で景観面というのは、どれが良いと思われませんか？3つの内から。それからコミュニティー、実際の活動がよく見えると、さらにこの賞をあげることによってさらに活性化して、人が増えてくるのでは？とかですね、まちづくり面でも効果があると。景観面はいかがですかね？どれがふさわしいですか？

【稲葉委員】 24ですね、景観で言えば。

【下村副委員長】 お声がそういう風に上がっていますが、一般的に言うとコミュニティーで花を植えておられる方はたくさんいらっしゃる。場所の特異性や景観に対する寄与という形で、24がいかがかというような話かと思うんですが。それに対する反対意見、いやいやこっちの方が、まちかどみどり、公園の緑としてはいいのではないかというご意見がもしありましたら、4、20も応援演説をお願いしたいんですが。

【一同】 . . .

【下村副委員長】 そしたら24を景観に。そうするとまちづくりに関しましては？

【磯貝委員】 4番。

【日高副委員長】 4番やね。

【下村副委員長】 それでは、コミュニティー部門を決定したいと思います、景観は24、まちづくりの方は4。これでいかがでございますでしょうか？

【一同】 はい。結構です。

【下村副委員長】 それでは、コミュニティー部門は決定したということで。次、学校部門でございますが、19が抜けました。そうしますと、13が残ってきております。13は、優先的にこの景観賞、まちづくり賞どちらの方が適切かということになるかと思うんですが、両方ともいけそうな気がするんですけど。

【日高副委員長】 児童は手伝ってないって言っていた。保護者とボランティアだけ。

【磯貝委員】 小学校やからね。

【日高副委員長】 難しいね。

【下村副委員長】 まぁこれは、どちらかという学校の中、校内、キャンパスじゃなくてですね、ちょっと外めに置いてはるということで、どちらかというと景観賞に近いかなという気がします。子供も入ってないというお話でしたし。地域の PTA とか、保護者会とかの活動だけでやられているとなれば、街並みへの寄与、景観への寄与ということで、景観賞ということではいかがでしょうか？
そうするとまちづくり賞を選ばないとダメですね。まぁ該当なしでもいいですけど。

【藤原委員】 さきほどから学校がいろいろ出ているし、何かつけたら。入れられるんやったら。

【下村副委員長】 そうですね、だからみんながよく一緒に頑張っ、まぁそういう意味も込めてですね。

【林原委員】 ちょっと抜けているんですけど、30番ですね。これを見ますと、全校生徒がチューリップの球根植えをして、子供が主役になって全員で取り組んでいると書かれています。
人数的にみたら8名になっているんですけど、これたぶん大人のメンバーが実際はやっているけど、チューリップに関しては子供らがやっているんじゃないかと。
それから花文字ですか？おもしろさがあるなと思います。おめでとうとか、意外性があったりいいかなと思ったりしているんですけど。子供のいわゆる主体性を考えるのであれば。

【下村副委員長】 学校部門は最初は何票ずつ入っていましたか？入ったのはありましたか？

【事務局】 あの、学校部門は。

【稲葉委員】 13番と19番が7票ずつ。

【日高副委員長】 後が。その後が・・・

【事務局】 その後につきましては、7番。

【下村副委員長】 7番何票ですか？

【事務局】 6票です。

【磯貝委員】 7番は推薦したいんですけど・・・育苗からやっているんですね、ここは。

【下村副委員長】 ちょっと5回からですかね？ちょっと全部お願いします。
上からお願いします。

【事務局】 上から、2番が0、5番が2、6番が2、7番が6、8番が1、13番が7、16番が3、19番が9、28番が1、30番が2。

【下村副委員長】 まちづくりに関して7番。と、そしたら3に減るんですね、6票ということになると。

【林原委員】 さっきの6番の環境委員っていうのは、児童が、生徒さんがやっているんですか？・・・

【下村副委員長】 7番ですか？

【林原委員】 6番です。これ、説明書きでは環境委員18名と教師で、とある。であれば、生徒が入っているならいいかなと。生徒が入っている。

- 【一同】 いいですね。
- 【事務局】 先生と生徒の取り組み。
- 【林原委員】 生徒が18名ということ？先生と生徒は別ですね。
- 【事務局】 先生と生徒で18名。
- 【林原委員】 あ、そういう意味ですか。
- 【稲葉委員】 7番ってこれは7票の人と一票しか変わらないわけだから
- 【下村副委員長】 私も思うんですけどね。
- 【日高副委員長】 でもあの、他の鹿ノ台の人もここへ育苗をしに来てたり、昔から鹿中はずっと花を綺麗にやっているし。
- 【磯貝委員】 鹿中なんですか。
- 【日高副委員長】 そう、鹿中7番。種からやってるし。
- 【海老澤委員】 計画をしっかりとっているし、7番いいですね。
- 【下村副委員長】 さきほどの最初に投票していただいたものを考えますと、一応候補としては7番があがってこようかと思うんですね。それ以外に挙げるとすれば、次が16の3票になってくるかと。だいぶ開きがあるんですね。7番を候補に挙げて7番がまちづくり賞にふさわしいかを吟味頂いて、それでよろしければ、7番はあげるべきなのかなと思いますが。
- 【一同】 はい、賛成。
- 【下村副委員長】 7番を拝見していてまちづくり賞にはどうでしょうか。
- 【稲森委員】 結構です。
- 【下村副委員長】 子供達も入っているんですか？
- 【一同】 はい、入っています。
- 【下村副委員長】 では学校部門の方ですが、13番景観、それから7番まちづくり。ということでよろしいでしょうか？
- 【一同】 はい。結構です。
- 【下村副委員長】 はい、ありがとうございます。
それでは、事業部門に参りたいと思います。
事業部門がですね、1と3でございますが、これ最初何票ずつだったんですか？
- 【事務局】 1番が7票、3番が9票、32番が5票です。

【下村副委員長】そうしますと3 2番はちょっとご遠慮いただくことになろうかと思えます。

先程、選んでいただいていた経緯もありまして。

そうすると1と3、景観賞とまちづくり賞。これはどちらがどう、という優位性はないと思えますので、どちらの方が印象が強いかなというような事で振り分ければいいのかではと思うんですが。

それでは、さきほど日高さんがお話をいただいていた道路側ってというのは、非常に誰でも一番よく通るとこなんですね、家を出れば道なんですね。ですから、そういう所を積極的に、花を植えて頂いているということで、どちらかというともちづくりの方で、ああやってペDESTリアンデッキといって歩行者用のデッキ周辺ですね、というところで活動されている方をまちづくりに。

これどちらという・・・ではないんですけど、ただ振り分けるということだけなんんですけど、ということをお考えますが、いかがでございますでしょうか？だから1の方が。

【日高副委員長】1が街並みだから景観。

【下村副委員長】1が景観で3が、

【一同】 まちづくり。

【下村副委員長】まちづくりというのは、街というよりはコミュニティー活動がどれだけ活性化するかどうかという印象で受け取っているんですけど。いかがでございますか？1番が景観で3番がまちづくり。

【一同】 異議なし。賛成。

【下村副委員長】はい、ありがとうございます。それでは住宅の方なんですけど、1 8が抜けましたので、1 7と2 3が候補で上がってきておるんですけど。当初の数字は？

【事務局】 9番が0票、1 0番が0票、1 1番が0票、1 2番が2票、1 7番が6票、1 8番が1 3票、2 3番が1 3票、2 6番が5票、3 3番が3票、3 5番が1票。

【下村副委員長】となりますと、2 6と1 7が近い数字になっていまして、まず2 3番についてなんですけど、1 8のいい賞を取られたのと、ほとんど変わらないですね。

【海老澤委員】 だけど、あれだけ奥まったら、人から見えないですからね。個人的なことですから、私はダメやと思います。もっとやっぱり。

【藤原委員】 景観まちづくりコンテストだから。きれいにはされているんですけど。

【下村副委員長】これは個人をどう評価されるかですね。

【日高副委員長】仕事しながらして頑張ってるのにな。

【磯貝委員】 プロの方からみてどうですか？

【下村副委員長】 景観面というのは、先程申し上げたように人通りが多いとか、公道から見える、公的な空間からいかに見えて本市（生駒市）の景観事業に寄与できるかどうかという所が、非常に大事なところなんですね。

そうすると、23はふさわしくないとなれば、まちづくり賞という判断になるんですね。個人で住宅をまちづくり賞で評価するっていう、これはなかなか難しいんです。しかし、そのときの判断なんですが、花を植えるというような(まちづくり)をやられることによって、近所の人達と会話が進んで行くとか、その地域の人達が積極的にそれを見て、ウチもウチもという風に広がって行って欲しい。というのが私達の思いなんです。あそこもやってはるからうちも。そしたらちょっと種のやりとりしようかなとか、同じような花で並べてみたら、バラバラという感じじゃなくて、統一感が出て綺麗だとか、そういうことに発展する可能性を含んでいるかどうかという。なかなか難しいですけどね、そうやって欲しいと願うわけなんです。そういう可能性があればこれはまちづくり賞かなと思います。

【下村副委員長】いかがでしょうか？まちづくり賞、差し上げるか。

あと、13票入りましたが、現場を見てやっぱり17番の方が。という事になった時に17はどっちの賞を差し上げるべきなのかと、思うんですけど。

ちょっと17番は見に行っていないので、また同じように見に行ったら。

【稲葉委員】 実際見に行ったら綺麗ですよ。

【下村副委員長】そうですね、ここの写真だけの判断でございますが、やはり同じ花を植える勇氣ですね。他と統一されるということは、あんまり真似すぎるといいときもあるんですけど、なかなか難しいときもあるんですね。ずっと続けるというようなことも。

いかがでしょう、ご提案なんです。17番景観賞、23番は今後の近所への波及効果を願ってまちづくり賞。

【稲森委員】 はい、異議なし。

【藤原委員】 これやっぱり名前は、景観賞とまちづくり賞の方がよろしいんですか？いやこれ、「など」って書いてあるからね。

【下村副委員長】 あ、「など」ってね。

【藤原委員】 例えばその2つの賞に該当しなければ、何とか特別賞みたいな、そんなのもいいかな？と。

【下村副委員長】 はい、この部門賞では、応募部門ごとに、景観賞、まちづくり賞などを贈ります。これで今ここまで収め頂いて、入れさせていただけたらと思うんですが。それ以外にも、これは入れておいたほうがいいという意見をぜひ。棚田が入ってこなかったら、こういう所に入れたらいいと思うんですけど。例えばですが、今後の発展形とか、こういう所でも緑化すれば、花を植えたりすれば、更に賞の対象になるんだとかですね。そういうところも候補として、入れるべきところがあればですね。

特別賞というのはないんですか？

【事務局】 書いてなかったですね。

【日高副委員長】 作りましょう。

【下村副委員長】 あれば結構なんですけど、今回はこれで十分だというご意見もあろうかと思うんですけど、35票のなかから11票選んだんですね？ですから1/3選んだんですね？もうええんとかちがうかという声もあろうかと思えますし、いやいやもっと出せというお話もあろうかと思うんですけど。

【海老澤委員】　今回はこれでいいですけど、河川が入ってないでしょう？川辺。これは入れるべきやと思うんですけど、実際に活動されているし。
草刈をやってその後に花を植えているから、これも対象に入れてやって欲しい。

【磯貝委員】　それは応募すればいい。

【海老澤委員】　応募したら入るのかな？河川も。

【藤原委員】　そんな応募するような立派なことまでやってない。

【日高副委員長】　たとえばミレニアム竜田川でも。

【下村副委員長】　いやいやコミュニティー部門に。

【藤原委員】　あそこは河川敷やから公にしたらあかん、公にできない。

【下村副委員長】　今回の賞の中では・・・次回に。まず今回の賞を決定してしまいたいです。
まずみなさんのご同意を頂いて、最優秀賞1点と、優秀賞2点、それから各部門ごとに2点ずつ。これはもう決定させて頂くということによろしいでしょうか？

【一同】　はい。

【下村副委員長】　ありがとうございます。これで終了なんですが、あと、どうしてもこれだけは入れときたいということがありましたら、事務局にお願いして、特別賞の可能性があるかどうかも含めてですね。

【下村副委員長】　先程申し上げましたように、一応11/35、ほぼ1/3近くは、賞の対象にはなっておりますので、適切な数かなというようにも思います。出したら賞をもらえるとは限らないけど、可能性は高いよというのが、これで示されたかとも思います。いかがでしょうか？

【下村副委員長】　それでは他の賞は今回はあまり考えないで、この11点で賞を設定させて頂きたいと思いますが、よろしいでしょうか？

【一同】　はい。

【下村副委員長】　どうも、ありがとうございます。こういう形で決定させていただいて、事務局にお返ししたいと思います。そして、これ、後で賞を差し上げるのに、なんでその賞が選ばれたかとかはいいんですか？はい、あなた最優秀賞です。っていう賞状だけでいいんですか？その講評なんかはよろしいですか？最優秀賞と優秀賞の講評・・・

【磯貝委員】　表彰状には何て書いてあるんですか？

【藤原委員】　賞に選ばれました。

【磯貝委員】　各賞共通ですね。

【下村副委員長】　何故選ばれたかという理由は無くてよろしいんですか？

【藤原委員】 そこまで無いですね。

【事務局】 賞状にですね、その文言入れた方がいいと思いますね。

【下村副委員長】 賞状はどっちでもいいと思うんですね、こういう風な今回のコンクールにおいて、優秀賞を取られましたのでこれを称えここに賞しますと。

【日高副委員長】 賞状には書かないの？

【事務局】 写真を・・・

【日高副委員長】 そんな長い賞状ないわ。

【磯貝委員】 写真かなにかを置いた時に横へちょっとね。この作品はこうやったとかね。

【藤原委員】 この作品はなんで選ばれたか。

【事務局】 パネル展示を予定しておりますので・・・

【下村副委員長】 その下に文言を入れられるとよい。どなたかが書かれて、今の（委員会の）話を酌んで、案を作るということになるかと思うんですね。このメンバーの中で誰かが書くのか、または事務局がお任せくださいとおっしゃるのかですね。そのあたりは余計なお世話だったかもしれませんが・・・。次の時に（審査をするときに）20年度コンクールの写真を入れて、最優秀賞の写真とともに講評が書いてあるという資料ができてくる。この年こういう所が賞をもらって、次の年はまたこの辺が評価されたのだなというように評価が蓄積されていくわけですね。そういうこともちょっと事務局にお考え頂いた方がよろしいかなと。

【磯貝委員】 全部講評したら大変ですよ？

【下村副委員長】 全部講評したら大変ですよ。

【磯貝委員】 最優秀賞と優秀賞ぐらいにして。

【下村副委員長】 いや、全部講評するんやったら振り分けですね。1人1個ずつですか。

【日高副委員長】 宿題ができますね。

【磯貝委員】 それやったら大鋸さんグループでお願いしますよ。

【下村副委員長】 その辺を講評しないという手もあるんですよ。賞はこれでした。ということで。で、これ何かの時にお渡しされるんですよ？表彰状。

【事務局】 はい、オータムフェアーの時に賞状を。

【下村副委員長】 賞状を渡されるわけですよ？そのときにあなた優秀賞でしたということで、何で？ってなったときに、誰がこういう所で、評価されたんですよということをですね、書くとか言わないといけないのではないかというふうに思いまして。

【林原委員】 オープンの方がいいと思うんです。今後の継続を考えたらね。「これだったら私もいけるで」

とかね。広がり期待したいですね。

【下村副委員長】ですから、あの講評はだいたいよく書くんですね。こういう点がよかったとかね。

【林原委員】 やっぱり市の広報とかありますよね？あそこに写真とか、今の11点？今日していただいて、さらに公共施設を写真等で、それから今おっしゃっていた講評とか、優勝リーグ・・・？これをきちんと整理して頂いたほうが、今後の広がり・・・

【下村副委員長】短い文で結構だと思うんです。講評を書かれるんだったら。ここで決まったのを、皆さんでご理解頂いていた方がいいかと思うんですね。案は事務局で作成されてですね、みなさんに回されるとか、委員長と副委員長だけに回していただくとか。それは今の話を十分聞かれたので、皆さんでやっていただけるのか。その辺の了解だけ、進め方ですので。

【事務局】 事務局でとりあえず素案を作らせて頂いて、下村先生なりに。

【下村副委員長】3人に送って頂いた方が、いいのか悪いのかっていう。もしみなさんに送ってもいいんですけど、たくさんの方が赤を入れてしまうと、なんかわからなくなってしまうので。そしたら委員長、副委員長に一応・・・という形で。

【一同】 お願いします。

【下村副委員長】そしたらそういう形でやらせていただきたいと思いますので、たぶんこれですべて終わりだと思います。あとは表彰式の段取りがいかになるかだけだと思いますので、以上で事務局にお返しします。

【林原委員】 ちょっと質問いいですか？入賞者にはいろいろな副賞、これは無しですね？表彰状は出すけれども、副賞はなしと。

【磯貝委員】 書いてある。

【日高副委員長】副賞贈りますって書いてます。

【事務局】 副賞は金券を予定しております。

【日高副委員長】顕彰プレートもありますね。

【事務局】 20年度最優秀賞・・・入れさせて頂いて。

【一同】 ……

【稲森委員】 朝言いましたけど、副賞はあまりせずに、入賞された方の努力に対して、認めるという意味の賞状は、いいと思うんですが、できるだけもう少し(賞を)増やしていきたい。だんだん増えると思うんですけど、来年は特に今11ですけど、だんだん増えていったらそれもふやさないといけませんので、予算も非常にいりますね？そういう(金券などの)副賞やったら。だからそういう方向で考えていただけたらありがたいと思います。

【事務局】 副賞の方もいない？

- 【稲森委員】 縮小するか、もう。
- 【稲葉委員】 前の見直しの時もう副賞をしないように決まっていたのでは？
- 【事務局】 しないというよりか、そう高価なものはいらぬという認識の上におったんですが。
- 【稲葉委員】 私たちはもうなくなると思っていたんですけど。
- 【大鋸委員】 それが欲しくてやっているわけじゃないと。
- 【林原委員】 いろいろ現地視察させて頂いてちょっと気になったのは、そのプレートなんですね。何位でこれは入賞されたんだと、何か立て看板のようなプレートをしてあげたら今後の励みになるでしょうし、ご近所、見学者などに見えるよう・・・支給してあげたら？
- 【磯貝委員】 それ顕彰プレートじゃないの？
- 【稲森委員】 トップの顕彰プレートみたいな、ピタッと貼り付けるようなもの。安いプレートで。名誉ですからね、ものやなしに。
- 【藤原委員】 今回の顕彰プレートというのはどういうもの？楯のことですか？
- 【事務局】 いいえ、花壇に挿していただくものです。
- 【磯貝委員】 他の作品にはないの？
- 【倉地委員】 最優秀賞だけ？
- 【事務局】 すみません。いろいろな意見頂いておるんですが、当初の本日お渡ししている要領の中では、副賞に付きましては、特に明示はしておりませんでした。したがって、再度、この辺りにつきましては、事務局の方で検討させていただきますので、よろしく願いいたしたいと思えます。
- 【下村副委員長】 参加者の方には、記念品として、花の種、又は球根ということで、優秀賞には賞状と副賞、で、最優秀賞の方だけプレートをさらに追加ですか？
- 【事務局】 はい。
- 【下村副委員長】 副賞については事務局でお考え頂いて、お任せするという形で、よろしいでしょうか？
- 【事務局】 それでは今の副委員長さんのご意見のとおり、ここに書いている通りで、副賞につきましてはこちらのほうで決定させて頂きたいと思えます。
今日の会議ですけれども長時間になりましたが、ありがとうございました。次回につきましては11月中旬頃を予定させて頂いております。また日程等につきましては委員長さんと予定を組んでから、出きるだけ早く連絡させて頂きたいと思えますので、よろしく願います。
それではこれで、本日の会議につきましては終了とさせていただきます。